

平成30年3月臨時教育委員会会議録

平成30年3月30日 臨時熊谷市教育委員会を商工会館2の1会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、本塚 雄一郎、西山 富由紀、加藤 道子、齋藤 洪太

○ 出席事務局

教育総務課長 鯨井 敏朗

教育総務課保健給食

担当副参事 馬場 伸夫

学校教育課長 中谷 樹

社会教育課長 鶴田 敏男

社会教育課文化財保護・

市史編さん担当副参事 吉野 健

中央公民館長 森田 安彦

文化センター所長 田中 博

教育総務課副課長 丸山 浩子

教育総務課主幹 増田 彩子

10時45分 臨時教育委員会開会

教育長から、平成30年3月臨時熊谷市教育委員会の開会の宣言があり、本会議の会議録の署名人に、加藤委員が指名された。3月定例教育委員会会議録については、委員の承認を得た。

また、議案第16号から議案第20号までは、人事等に関する案件のため、非公開としたいとの提案があり、承認された。

日程第1（報告第3－5号）教育長職務代理者の指名について

教育総務課長から、平成30年4月1日からの教育長職務代理者について、教育長が西山委員を指名したことについて、報告があった。

日程第2（議案第14号）熊谷市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について

中央公民館長から、1月定例教育委員会において承認された「鎌倉町公民館の廃止」について、3月市議会定例会で、公民館条例改正の議決を受け、熊谷市公民館条例施行規則の一部を改正することが説明された。特に質疑はなく、原案どおり可決された。

日程第2（議案第15号）文化財の指定について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、平成29年3月臨時教育委員会において、文化財指定に向けた調査について諮問した5件の指定候補のうちの2件「赤城久伊豆

神社本殿」と「常光院本堂」について、平成３０年３月２２日開催の平成２９年度第２回熊谷市文化財保護審議会で審議され、市指定文化財としての指定が適当であると答申されたことを受けて、教育委員会に諮るものであると説明があった。

(質疑)

本塚委員から、文化財指定をされると、所有者が修繕を行う場合に、許可が必要なのかという質疑があり、文化財保護・市史編さん担当副参事から、届出が必要であり、修繕費用の一部に補助金が交付される場合もあるとの説明があった。

その他は、特に質疑はなく、２件の市指定文化財としての指定について、可決された。

日程第２（議案第１６号）～（議案第２０号）

(非公開)

(議案は原案どおり可決)

日程第３（その他）平成３０年度文化振興基金助成金について

社会教育課長から、文化団体が実施する事業につき１回に限り２０万円を上限とする助成金を交付することとしている熊谷市文化振興基金交付制度の一部を改正し、平成３０年度から、文化団体が継続して実施している事業のうち、１０年単位の周年で実施する記念事業に限り再助成を可能とすることとしたことについて説明があった。

(質疑)

本塚委員から、助成対象となる経費には人件費が含まれるか、また、対象の経費の範囲を定めているかとの質疑があり、社会教育課長から、運用の中で個別に判断しており、団体への助成の可否は、選定委員会に諮っているとの説明があった。さらに、同委員から、団体が直接事業を行わず外注する場合があります、丸投げということになり、不適切なのではと問題視される場合があるとの指摘があり、社会教育課長から、十分に精査し、選定委員会に諮るようにしていくとの発言があった。

日程第３（その他）「人権に関する意識調査（第１２回）」について

社会教育課長から、平成２９年度に実施した成人を調査対象とした第１２回人権に関する意識調査の報告書を、市内の小中学校、公民館、図書館等に７５０部程度配布したことについて、報告があった。

他に報告はなく、教育長の宣言により、平成３０年３月臨時熊谷市教育委員会を閉会した。

(11時20分 閉会)

署名 教育長 野原 晃

委員 加藤 道子